

## 私のボランティア活動についての心得

### 1. ボランティアは愉しむこと

愉しみがなく苦しみしか得られないなら意味がない。

(仲間との人間関係。特に攻撃的態度の仲間との人間関係で苦しむ人も居る)  
報酬といった現実的利益はないのだからそのかわり愉しみ、精神的満足を求める  
精神的満足は、ボランティア活動で相手からお礼や笑顔で応えられることではない。  
(行動そのものが与えながら与えられる関係であることの理解)

### 2. 信念を持つこと

中途半端な気持ちではしてはならない

すぐに投げ出すのは廻りが迷惑するし、本人にとりマイナス。  
意義を十分に理解し、自分の生涯、生き方の中に位置付けること。  
音楽ボランティアであれば、音楽が何のためにあるか、音楽家の演奏にどのような意味があるのか、といったことの理解(自分流でよい)。

\*面白そうだから、とあれこれ無責任に手を広げない。

### 3. 自分の生活が確立していること

ボランティアにより本業もよくなる

本業、社会的地位が確立して始めて他人のための活動ができる。  
そして、それは自分の世界を広げる、そして自己の向上がある。  
豊かな人生につながる。

そして ボランティアは愉しまなくては意味がない。 という原点に帰ってくる。